

ヴァラエティ・カフェ

気になる子をもつ保護者の懇談会

政府広報オンラインで今春、特集が組まれたように、発達障害や知的障害など、発達に「困り感」を持つ子どもの数は10%以上とされています。

例えば、自閉症やADHD（注意欠如多動性障害）といった言葉が注目されていますが、共通する特徴がある訳ではなく、一人ひとりが異なる困り感を抱えています。

その為、保護者や関係者はその理解と支援の情報を必要としますが、適切な機会が少ないのが現状です。

そこで、有志が集まり、保護者や関係者が、発達障害の専門家や先輩保護者、成人当事者と懇談できる場「ヴァラエティ・カフェ」を用意することで、その問題を解決したいと考えました。

7月30日（土）にその第1回を実施します。

- 日時 2011年7月30日（土）午後1時00分～午後3時45分（12:30 受付開始）
- 場所 豊島区心身障害者福祉センター（豊島区目白5-18-8）
- 内容 (1) 解説 発達障害の基礎知識、得られる支援や制度
(2) 懇談 小グループになって先輩保護者や成人当事者、専門家に質問
- 定員 100名（託児は15名）
- 対象 気になるお子様をお持ちの保護者、他、カフェに関心をお持ちの方どなたでも
- 申込 事前申込を推奨。当日受け付けますが、多数の場合、お断りする可能性もあります。
- 費用 500円（資料代） 事前申込の上、当日、現地でお支払いください。
- 託児 500円（2歳以上／アレルギー対策で、おやつ、飲み物持参をお願いします） 同上
- 主催 ヴアラエティ・カフェ推進委員会
- 企画・協力 東京都成人発達障害当事者会イイトコサガシ
- 申込・連絡先 v-cafe@ledex.co.jp FAX 042-799-0741（問合わせ 042-799-0269 五藤）

◎プログラム

- 【1】 1:00-1:30 解説「発達の遅れと多様性」／榎木丸真子：Be wiz You（ビジー）代表
- 【2】 1:30-2:00 スペシャル・トーク「突然、届いた学校選択の手紙」／矢幡 洋：講談社ノンフィクション賞候補
スペシャル・ゲスト／矢幡 洋
「数字と踊るエリ 娘の自閉症をこえて」を出版、朝日新聞「著者に会いたい」などに登場するなど、大きな話題を呼んでいます。
当日は「突然、届いた学校選択の手紙」と題して、トークと自閉症ケアのパフォーマンスをして下さる予定です。
- 【3】 2:00-2:20 解説「相談できる機関・利用できる制度」／原佐知子：障害児・者の医療を考える会（がじゅまる）事務長
- 【4】 2:20-2:30 カフェ設立メンバー 自己紹介（各1分）
冠地 情（東京都成人発達障害当事者会）、入手千尋（作業療法士）、武部 美帆（長野県子ども・若者支援）
星出光俊（弁護士）、渡辺由美子（NPOピコピコ）、上條晴夫（東北福祉大学准教授）、五藤博義（レデックス）
- 【5】 2:45-3:30 小グループでの懇談
- 【6】 3:30-3:45 事務連絡と質疑応答、アンケート記入 3:45 閉会

